

○藤村委員長 次に、山井厚生労働大臣政務官。

○山井大臣政務官 このたび厚生労働大臣政務官を拝命いたしました山井和則でございます。

この厚生労働委員会は、そして厚生労働行政というのは、国会の中、また政府の中でも最も国民の生活に近い、密接に関係する、そして一番期待も大きな分野であると思っております。

ただいま長妻大臣から冒頭のごあいさつがございました。この中に多くの施策、多くの法案が含まれております。一つ一つの施策、待ち望んでいる方々がおられます。ぜひとも、この厚生労働委員会で真摯かつ建設的な議論が行われることを祈っております。この委員会での質疑の一つ一つに、多くの方々の人生、暮らし、命がかかっているというふうに思っております。

厚生労働行政の中でも、不十分な点、間違っただ点ももしかすれば試行錯誤の中であるかもしれません。いい施策に関しては御支援を、また、間違っただ施策が万一あれば、厳しく御指導をいただければと思っております。

長妻大臣を支えて、両副大臣、足立政務官と力を合わせて頑張っております。どうかよろしく願いをいたします。(拍手)